

# トイレを気軽に使っ てね!

## 店舗に絵文字で表示

### NPOなど 横浜でスタート、賛同店募る



店頭に掲げられたオープントイレマーク—横浜市中区元町3のタカラダで

「トイレ、気軽に使っ  
てください」。店舗  
の入り口に絵文字で呼  
びかけるステッカーを  
貼ってもらい、誰もが  
トイレに困らず観光を  
楽しめるまちづくりを  
目指す取り組みが、今  
月から横浜市でスタ  
ートした。題して「OP  
EN Toilet  
Project」。プ  
ロジェクトに取り組む  
NPO法人「Check  
k(東京都世田谷区)  
と大川印刷(横浜市戸  
塚区)は「街の活性化  
につながる」と呼びか  
け、賛同店を募ってい  
る。

Checkは、体の  
不自由な人も使いやす  
い多機能トイレがどこ  
にあるかをウェブサイ  
ト上で紹介する「Ch  
eck A Toi  
let」(<http://www.wen.checkatoilet.com>)を運営。一方、大川印刷は昨年、横浜で開催されたアジア太平洋経済協力会議(APEC)で外国人にも使用食材が一目でわかるピクトグラム(絵文字)を広めたことで知られる。

黄緑色のステッカーは「オープントイレマーク」と名付けられ、登山中に「用を足す」ことを「花を摘みに行くと表現することから、花とトイレマークを組み合わせたデザイン。多機能トイレの場合、①車いす対応②ベビーチェア付き③オストメイト(人工肛門や人工ぼうこうを使う人)対応—であることが、ピクトグラムで判別できるように工夫されている。

トイレを提供できる店舗は800円でステッカーを買い、店頭に表示。購入した店はプロジェクトのサイト(<http://www.open.checkatoilet.com>)に掲載されるほか、多機能トイレだと、ネット上の地図サービス「グーグルマップ」などにも表示され

る。  
この取り組みは財団法人「横浜観光コンベンション・ビューロ」の認定事業に選ばれ、観光スポットとして人気の元町、中華街、山下町の3地区の賛同店には1年間、ステッカーを無料配布する。現在のところ、協力しているのは3地区の9店舗・施設。大川印刷の大川哲郎社長は「来店機会につながるので、お店そのものや

商品・サービスについて知ってもらう機会になるエリアビル。「多くのお店に賛同いただくことで、街ぐるみで『おもてなしのまちづくり』が進み、活性化につながる」と期待する。問い合わせは同社内の事務局(045・441・2011)へ。  
【武本光政】

2011年11月28日(月) 毎日新聞朝刊 神奈川県版